

1. 略歴

1986年4月	東京大学教養学部文科Ⅲ類 入学
1991年3月	東京大学文学部西洋史学専修課程 卒業
1991年4月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程西洋史学専攻 入学
1994年3月	同 修了
1994年4月	東京大学大学院人文科学研究科博士課程西洋史学専攻 進学
1995年10月	アイルランド共和国ダブリン大学留学
～97年9月	(1996年9月まではアイルランド政府給費留学生)
1999年3月	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程西洋史学専攻 単位取得退学
1999年4月	東京大学大学院人文社会系研究科西洋史学研究室 助手
2002年3月	博士(文学)学位取得
2002年4月	岐阜大学教育学部社会科教育講座(史学) 助教授
2007年4月	同 准教授
2012年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

アイルランド近代史、近代ブリテン世界史

b 研究課題

19世紀アイルランド農村史、近代ダブリン都市史、近代ブリテン世界史

c 概要と自己評価

教育・研究・学内業務において、基本的責任を果たした。

d 主要業績

(1) 著書

共著、Shunsuke Katsuta, “‘In death they are not divided’: The Irish Burial Act of 1824 and establishment of a ‘an open’ cemetery in Dublin”, in Katsumi Fukasawa, Benjamin J. Kaplan, Pierre-Yves Beaurepaire (eds.), *Religious interactions in Europe and the Mediterranean world: Coexistence and dialogue from the 12th to the 20th centuries*, Routledge, 2017.6

単著、Shunsuke Katsuta, *Rockites, magistrates and parliamentarians: Governance and disturbances in pre-Famine rural Munster*, Routledge, 2017.8

共著、勝田俊輔、『東京大学が文京区になかったら——「文化のまち」はいかに生まれたか』、NTT 出版、2018.1

(2) 学会発表

国内、勝田俊輔、「趣旨説明」、「18世紀ブリテン世界におけるコスモポリタニズム——ヒューム、スミス、パークの所論から」、東洋大学白山キャンパス、2016.12.3

国内、勝田俊輔、「複合国家論への留保——アイルランドの位置づけ」、シンポジウム「ヨーロッパ複合国家論の可能性——イギリス思想史研究との対話」、京都大学、2017.1.29

国内、勝田俊輔、「総評——コスモポリタニズムの歴史的文脈」、日本18世紀学会第39回全国大会、立教大学、2017.6.24

国内、勝田俊輔、「近世アイルランド(アルスタ)の植民都市——「市場」と「文明」、都市史学会大会シンポジウム「植民地と都市そして地域」、東京理科大学、2017.12.10

国内、勝田俊輔、「Georgian Dublin: マクロ的予備考察」、都市史学会ワークショップ「Georgian Dublinの都市空間: 建築史的観点から」、東京大学本郷キャンパス、2017.12.25

(3) 教科書

『新編新しい社会歴史』、勝田俊輔、その他、東京書籍、2016

3. 主な社会活動

(1) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

任意団体、史学会、編集委員、2013.5～2017.5、評議員、2014.5～